



中期経営計画 (FY11~16)

CK GX4 T10

シーケー

ジー バイ フォー

ティー テン

2011年 7月19日

カルソニックカンセイ株式会社
取締役社長兼CEO 呉 文精

中期経営計画(FY11～16)目次



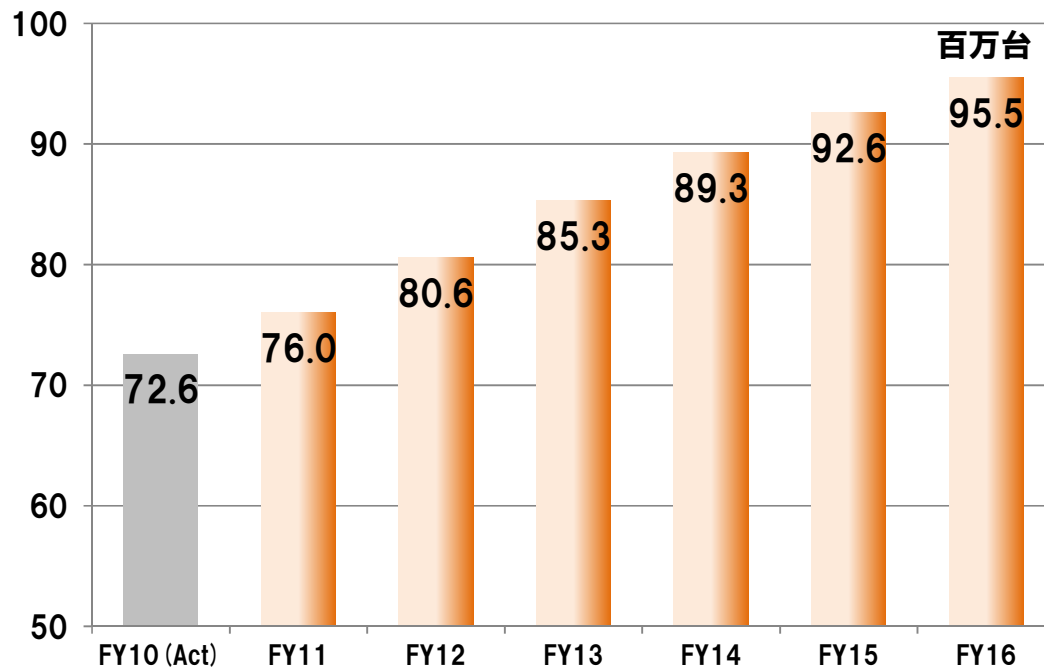
1. 市場環境
2. CK GX4 T10
3. 達成に向けた取り組み

市場環境



- FY16のグローバル生産台数は9,500万台を超える見通し
- 先進国を中心にCO2規制の強化(現状より30%以上の燃費改善)
- EV/(P) HEV需要の順調な拡大

グローバル全需の見通し



先進国の環境規制動向

Region	2008	2010	2015	2020
Europe		140g/km-CO2 (PC)	120g/km-CO2 (PC)	95g/km-CO2 (PC)
US (49 States)		27.5mpg (PC)	37.8 mpg (PC)	
US (California)		27.6 mpg (PC/LT Avg)	43.4 mpg (PC/LT Avg)	

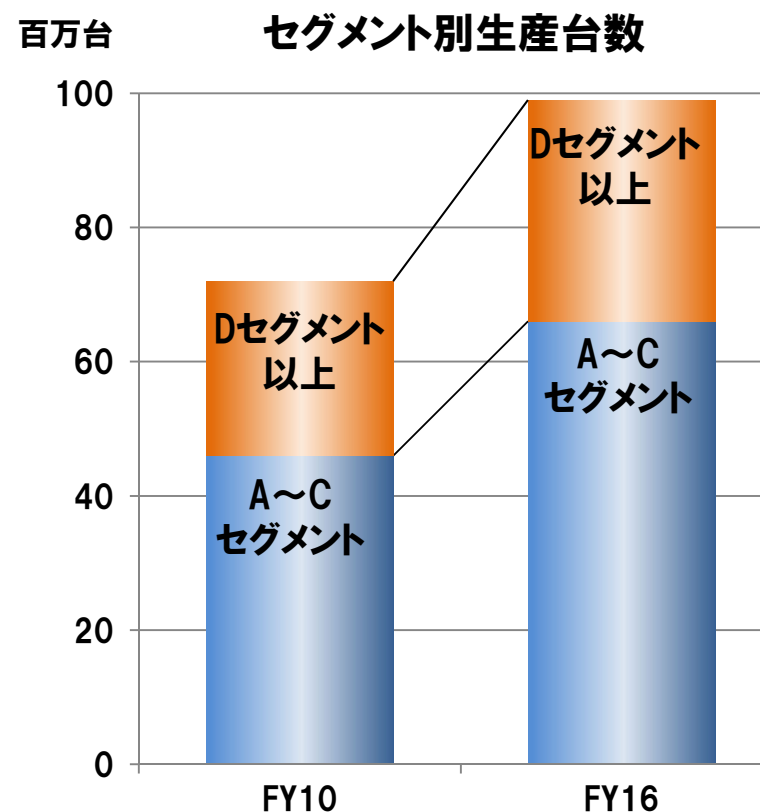
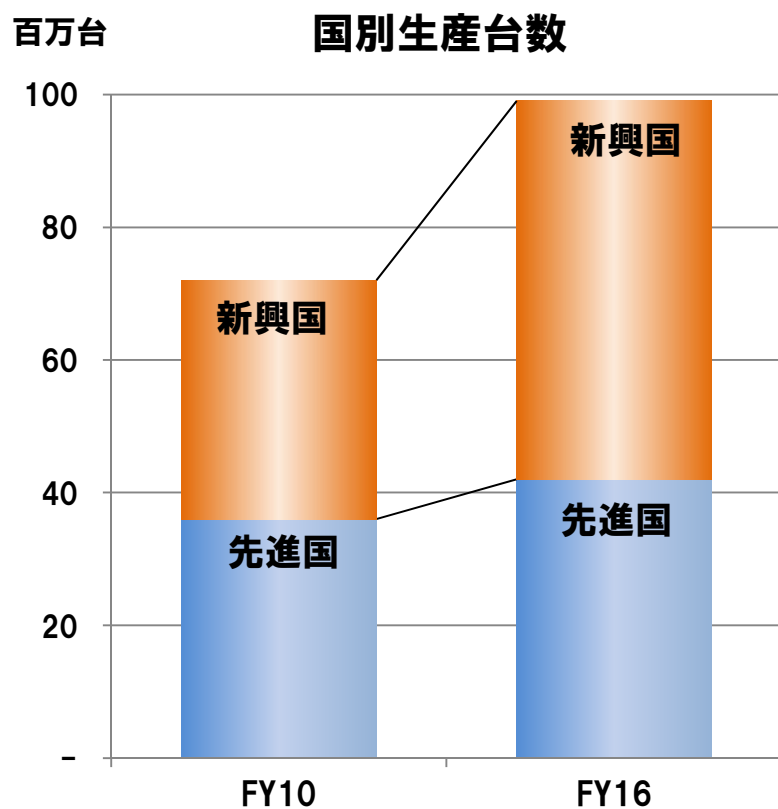
<PC: Passenger Car, LT: Light Truck>>

<Source: Marklines>

市場環境



地域別 BRICs/ASEANを中心とした『新興国』が伸長
セグメント A～Cの『小型車』の増加率及びシェアの増加



<Source: CSM May 2011>



市場環境(まとめ)

自動車市場の潮流

EV/HEVのシェア拡大



新興国/小型車市場の急成長



『4つのG』をキーとした成長戦略の実行

『T10』の実現



CK GX4 T10

Growth



Green



Global



Great Companyとしての企業基盤確立

CK GX4 T10

世界をリードする環境対応新製品10創出

売上高Globalトップ10 (1兆円以上)

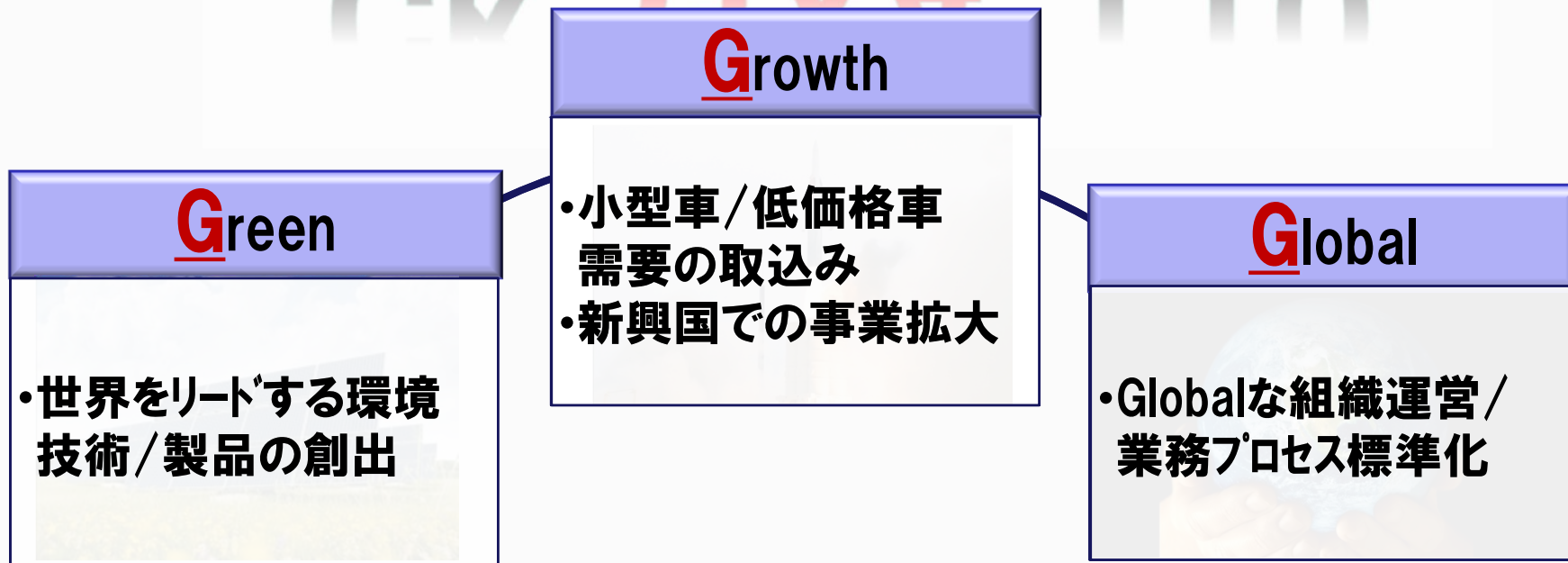
営業利益Globalトップ10 (7%レベル*1)

*1:付加価値売上比率



達成に向けた取り組み

CK GX4 T10

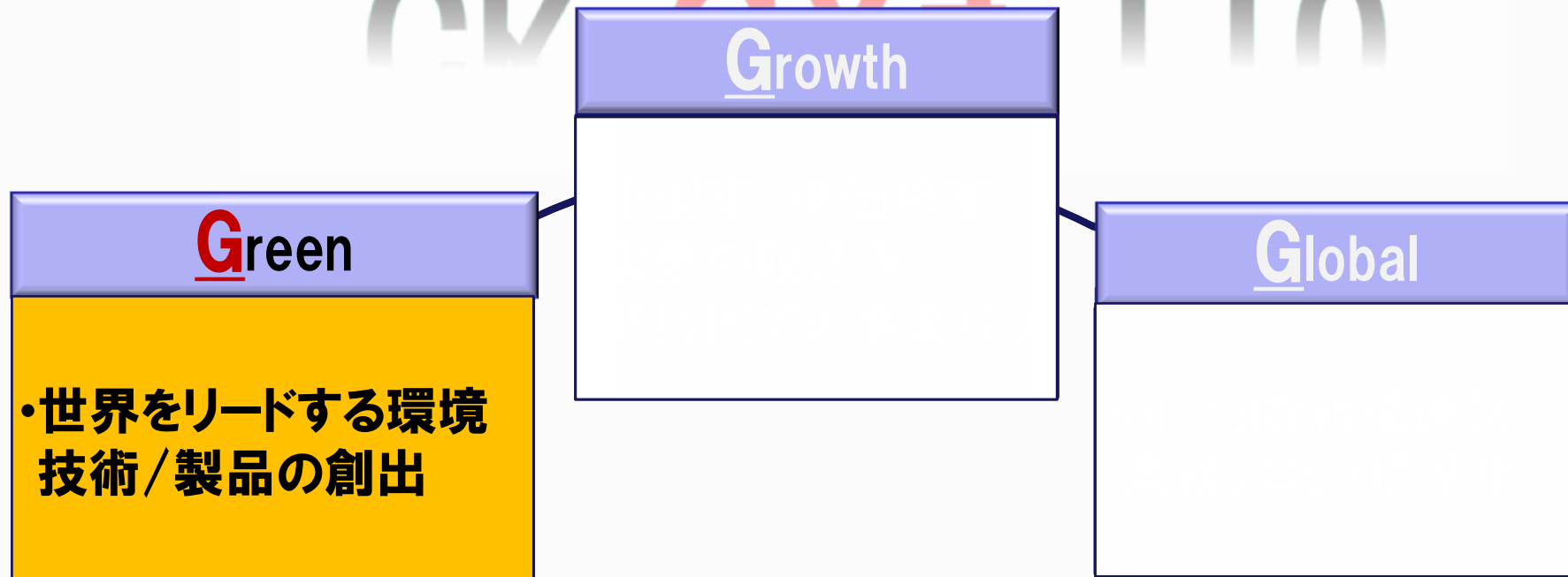


Great Companyとしての企業基盤確立



達成に向けた取り組み

CK GX4 T10



Great Companyとしての企業基盤確立



テクノロジーリーダーシップ

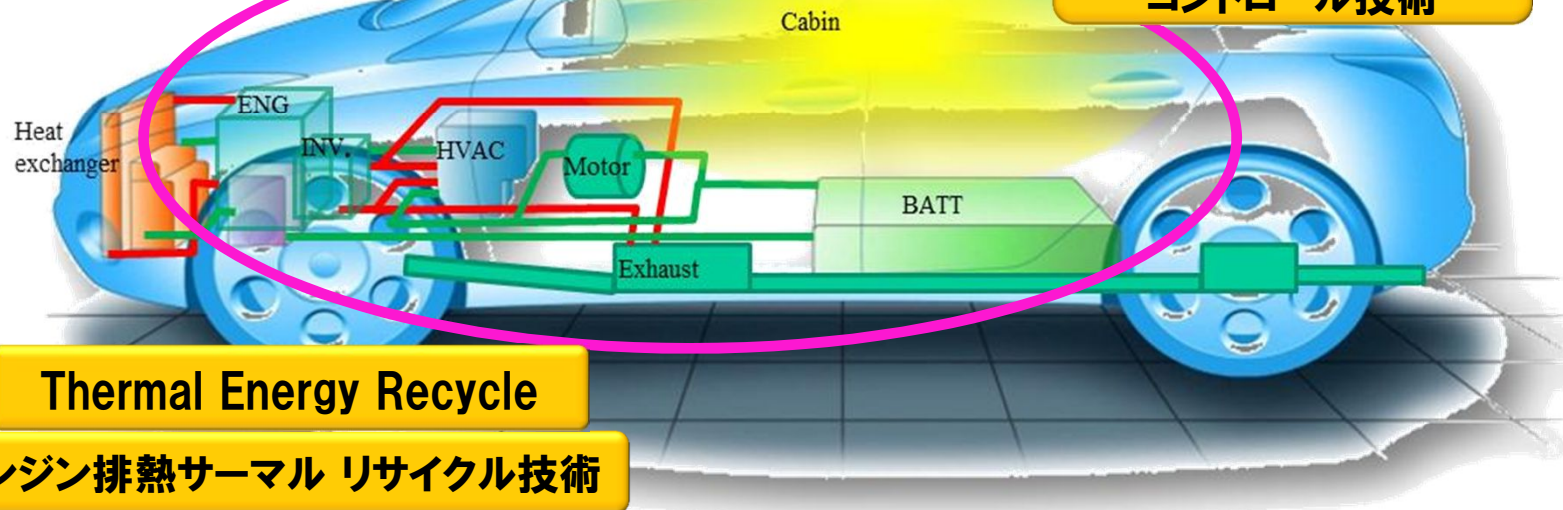
トータルエネルギーマネジメント技術をコア
とした技術シナジーで環境対応新製品を創出

Power Saving Climate Control System

空調システム 省エネルギー化 技術

Power Electronics

パワー エレクトロニクス
コントロール技術



Thermal Energy Recycle

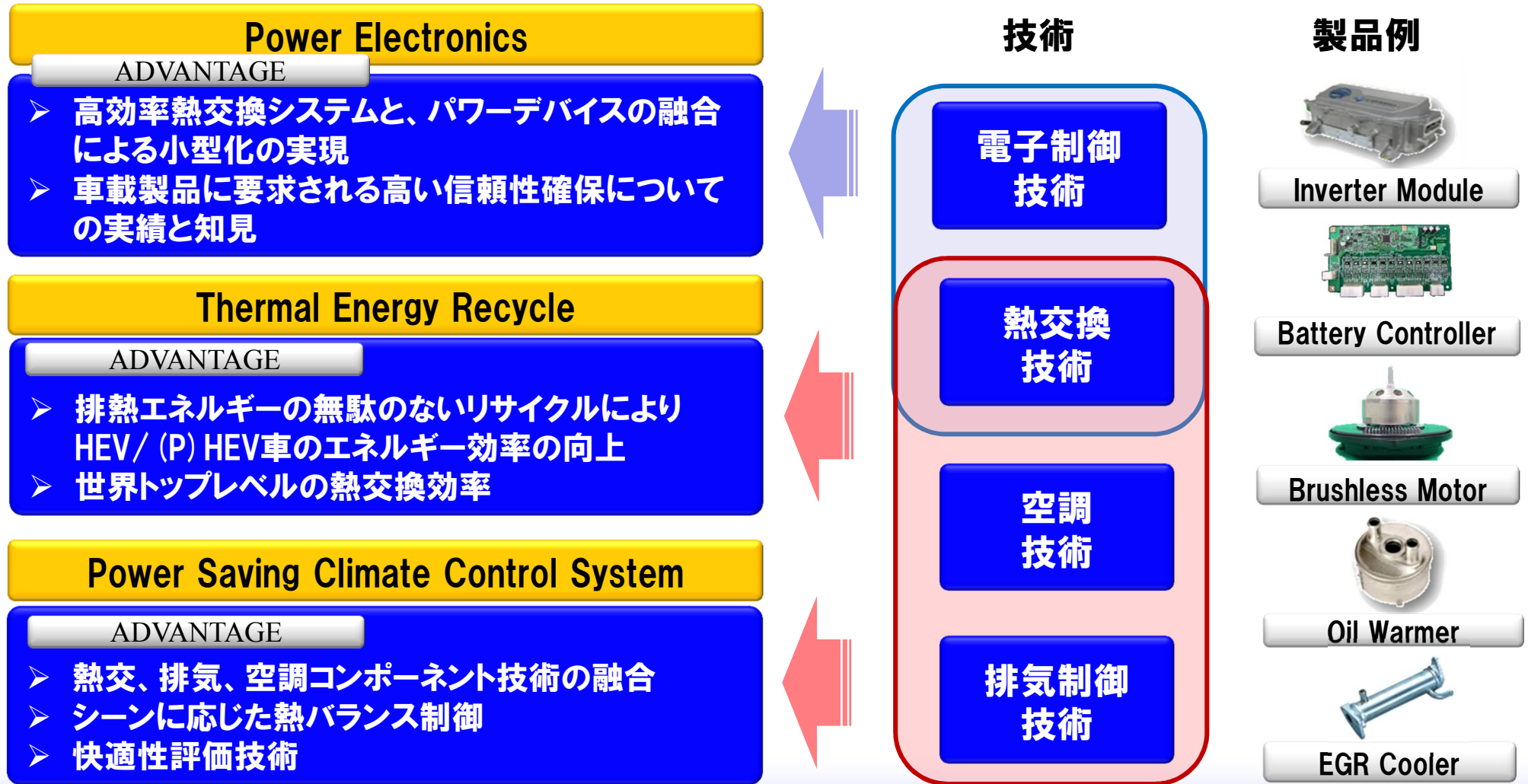
エンジン排熱サーマル リサイクル技術

次世代環境車のエネルギーマネジメントの
テクノロジーリーダーを目指す



テクノロジーシナジー

➤ 製品特徴と技術の融合により、次世代環境製品で業界をリード

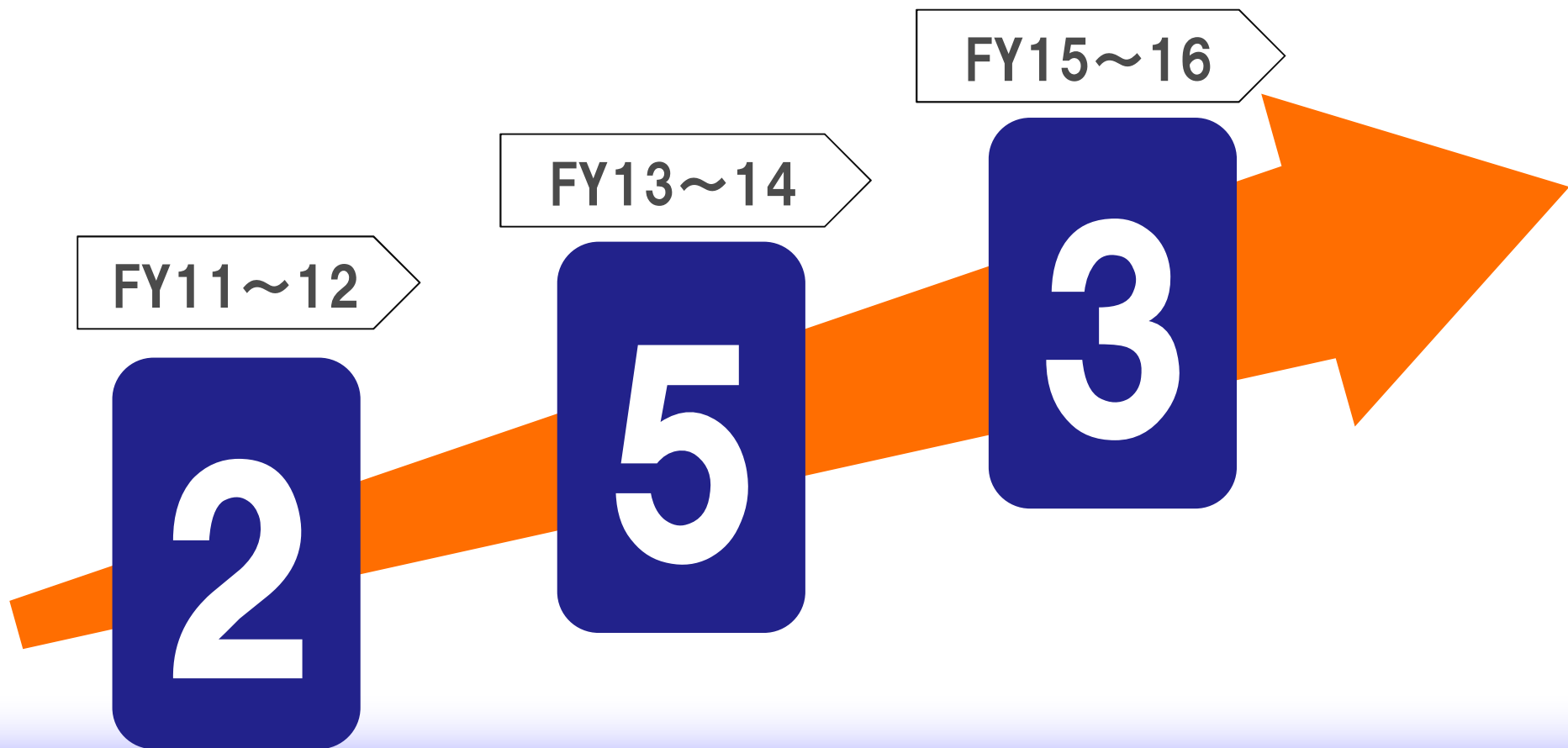




環境型製品の市場投入

目標

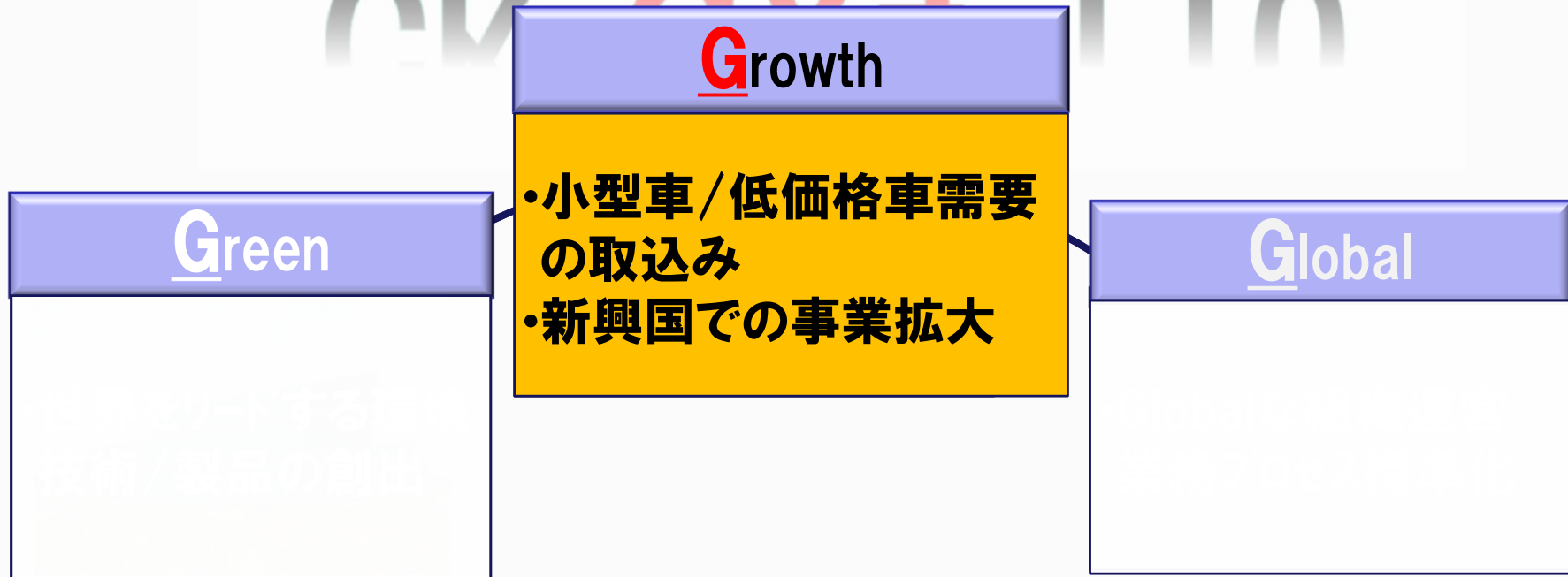
2016年までに世界をリードする
10個の環境型製品を投入する





達成に向けた取り組み

CK GX4 T10



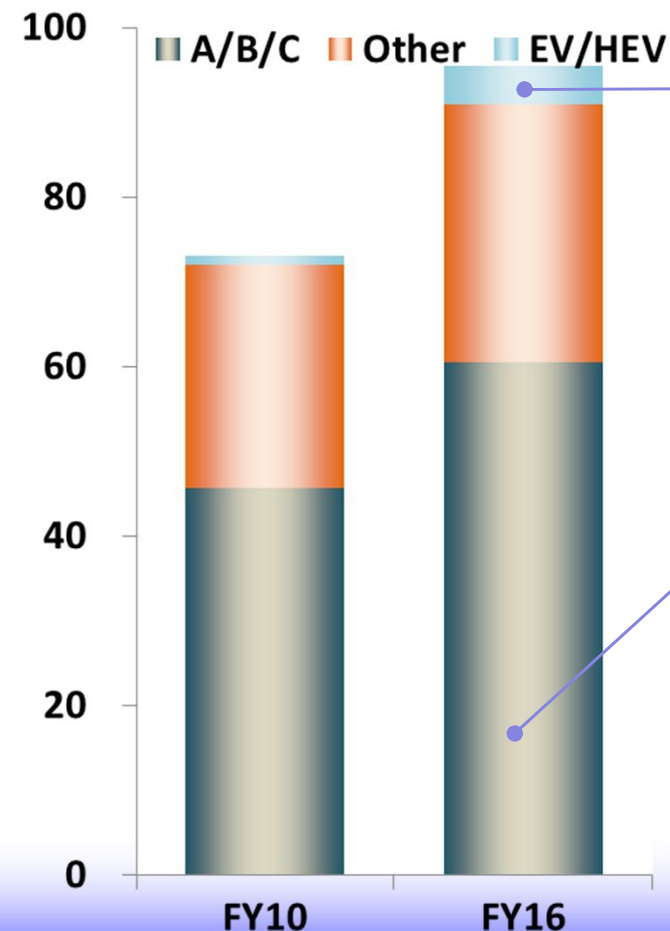
Great Companyとしての企業基盤確立

マーケット戦略



➤ 成長著しい新興国の小型車、および先進国のEV/ (P) HEV市場をターゲットとして、競争のキードライバーに強みを持つ製品を投入

セグメント別需要推移



競争のキードライバー

① 新技術を搭載した環境製品の開発*

*“Green-環境技術/製品の創出”にて説明

① 小型/軽量/廉価の製品ラインアップ
② 生産コスト低減の実現

強みを持つ技術/製品

技術

- ◆ 電子実装/電子制御技術
- ◆ 熱マネジメント技術

製品

- ◆ コンプレッサ
- ◆ 空調
- ◆ 熱交換
- ◆ 排気
- ◆ 内装
- ◆ 電子・電装



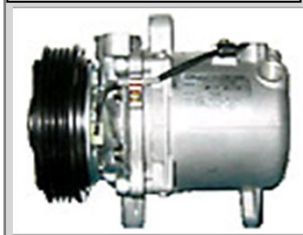
成長を支える製品/技術戦略

小型固定コンプレッサ/小型廉価HVAC/薄型ラジエータ

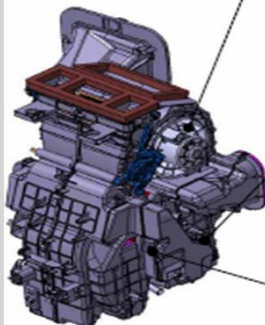
製品特性

- 信頼性
- 小型/軽量
- 低価格

小型ベーン
ロータリー
コンプレッサ



小型HVAC

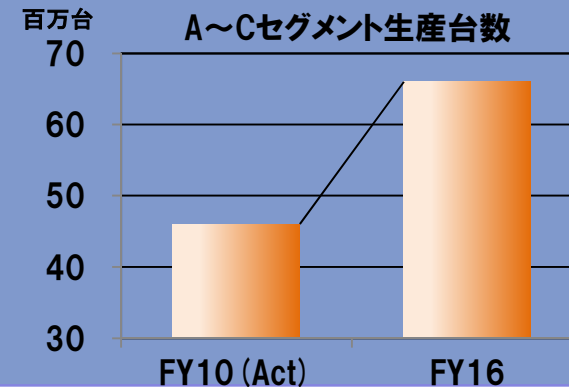


薄型ラジエータ



市場ニーズ

- 新興国の小型車需要増による、小型廉価製品のニーズ拡大



アクション

- 新興国のニーズに合致した、小型/軽量/廉価製品の投入
- 大幅な需要増に対応するため、生産能力を拡大
- 部品の現地化推進

成長を支える製品/技術戦略



排気

製品特性

- 高耐熱エキゾーストマニフォールド
- 軽量コンパクト
- 耐久性

現行エキゾーストマニフォールド



市場ニーズ

- CO₂規制強化の対応
- 燃費改善のため、排気高温化が不可欠

Region	2008	2010	2015	2020
Europe		140g/km-CO ₂ (PC)	120g/km-CO ₂ (PC)	95g/km-CO ₂ (PC)
US (49 States)			27.5mpg (PC)	37.8mpg (PC)
US (California)			27.6mpg (PCLT Avg)	43.4mpg (PCLT Avg)

アクション

- コストリーダーを実現する製品設計、工程設計技術の向上
- エキゾーストマニフォールドの幅広い顧客へ拡販を図って、売上倍増



成長を支える製品/技術戦略

車格に応じた設計仕様と生産技術工法により、
最適な品質と価格の両立の実現化

コンパクト

ミディアム

ラグジュアリー

無塗装ハードインスト

ソフトパッドインスト

ソフトフィールインスト

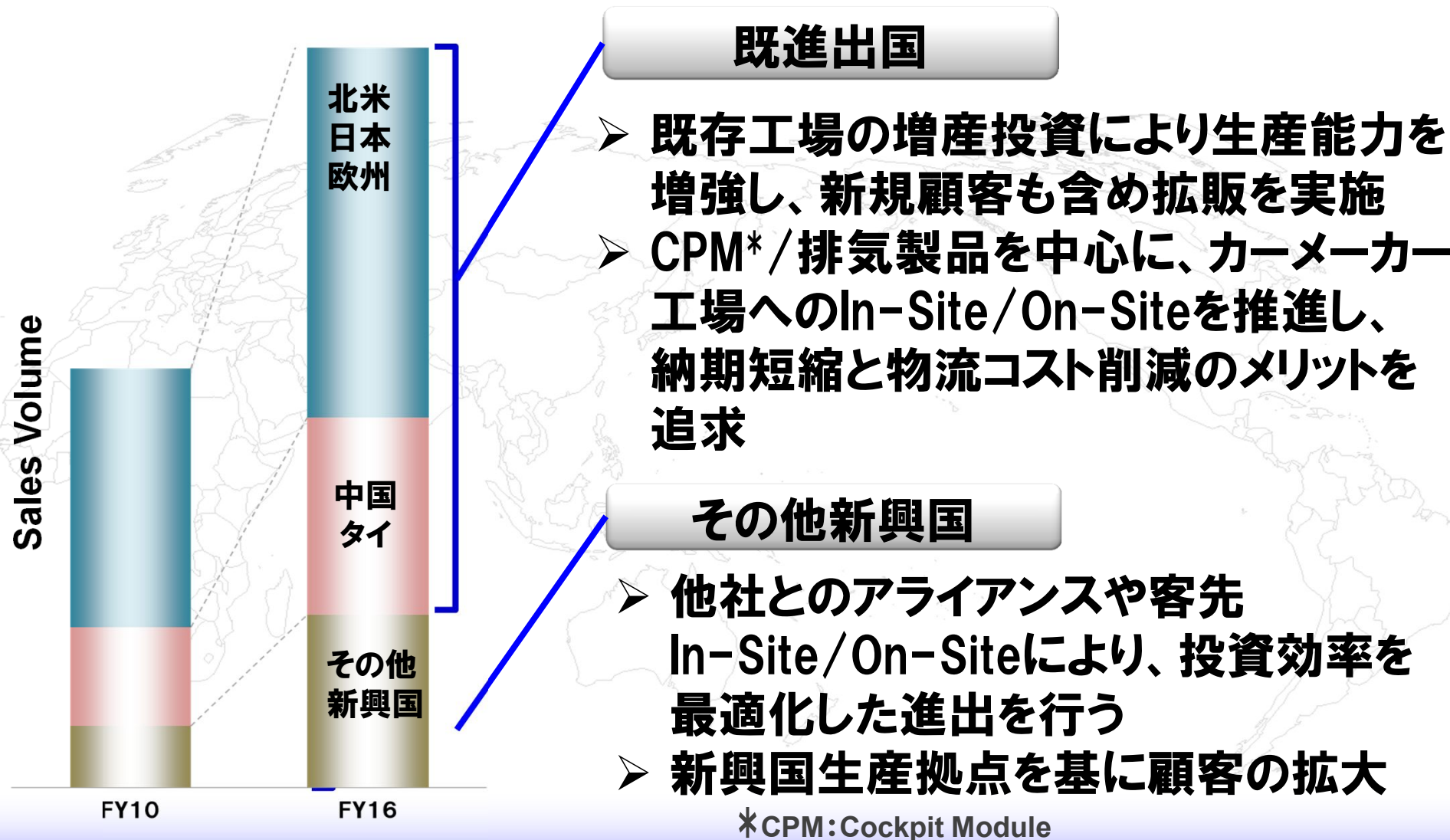


コンパクトカーに求められる
低コストと見栄えを両立

表皮の射出成形工法による
高品質+低コストを両立した
ソフトパッドインスト

ウレタンキャスト表皮の採用
による本革クラスの質感の
実現

地域戦略 ～進出アプローチ～



カーメーカーとの共同原低活動 ～In-Site/On-Site～

In-Site/
On-Site

当社の製品をカーメーカーの工場内で同期生産/組立する
共同原価低減活動

効果

- 設備投資と物流費を中心に、従来の原低を遥かに凌ぐ
トータルコスト削減に寄与
- 土地/建屋/動力設備への投資削減の実現
- 物流効率の低い製品では50%以上の物流費削減が可能

地域と製品群の拡大の取り組み

地域

- ➡ 中国/メキシコを中心としたカーメーカーの生産増強
に合わせて、In-Site/On-Site化を推進

製品群

- ➡ CPMの同期生産に加え、排気や空調製品にも
In-Site/On-Site化を拡大



HVACシステム組立工程

中国での売上倍増（FY10 vs FY16）



- 品質重視にシフトしつつある民族系顧客、中国事業を拡大する日系顧客への拡販を行う
- エンジニアリングセンターを強化し、開発フェーズからの現地化を推進
- 既存拠点の強化（CPM/内装、排気等のIn-Site/On-Siteを推進）

当社の拠点

主要顧客



開発



生産（既存）

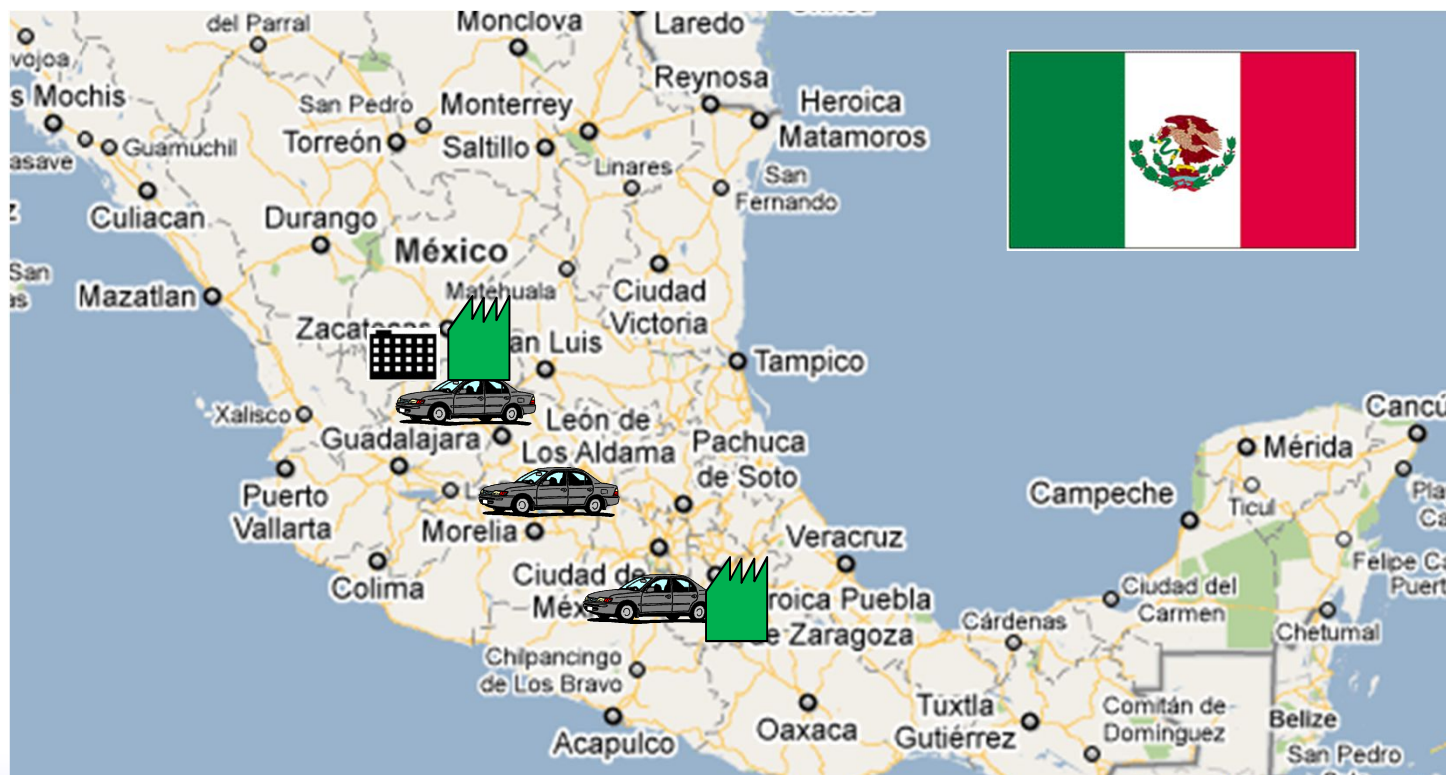


生産（新設）

メキシコでの売上倍増（FY10 vs FY16）



- メキシコに新規進出する日系顧客に対し拡販
- FTAを活用しブラジルへ拡販
- 既存拠点の強化(CPM/内装、排気等のIn-Site/On-Site)
- エンジニアリングセンターの拡充



新興国でのアライアンスの実例



ロシア



➤ 独X社のロシア工場
で排気製品を生産予定

インド



➤ 現地有力メーカーの
マザーソン社と合併で、
空調製品を生産中

ブラジル



➤ 独Y社のブラジル工場
で空調製品生産予定



達成に向けた取り組み

CK GX4 T10

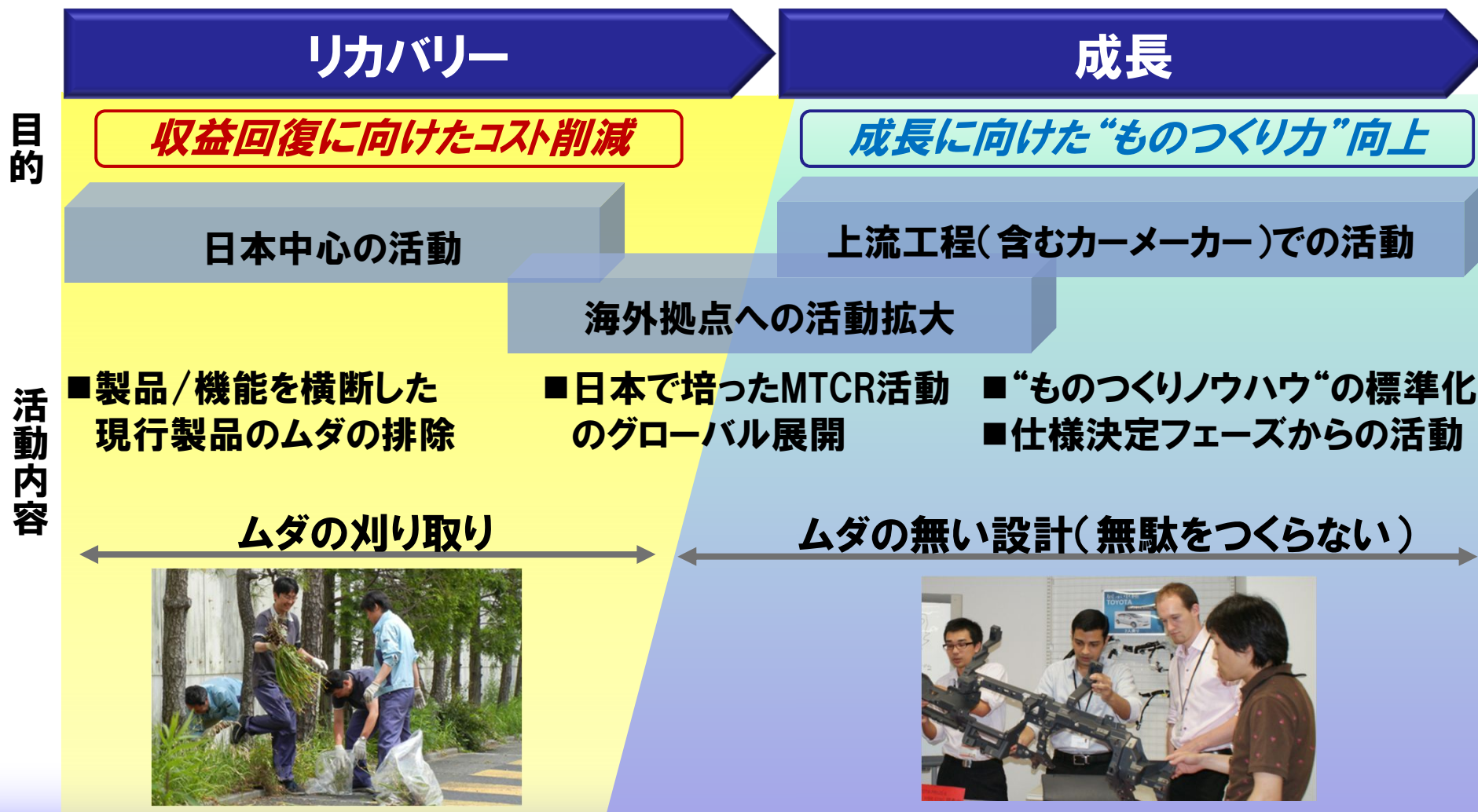


Great Companyとしての企業基盤確立

ものづくり力の強化（コスト競争力No. 1）



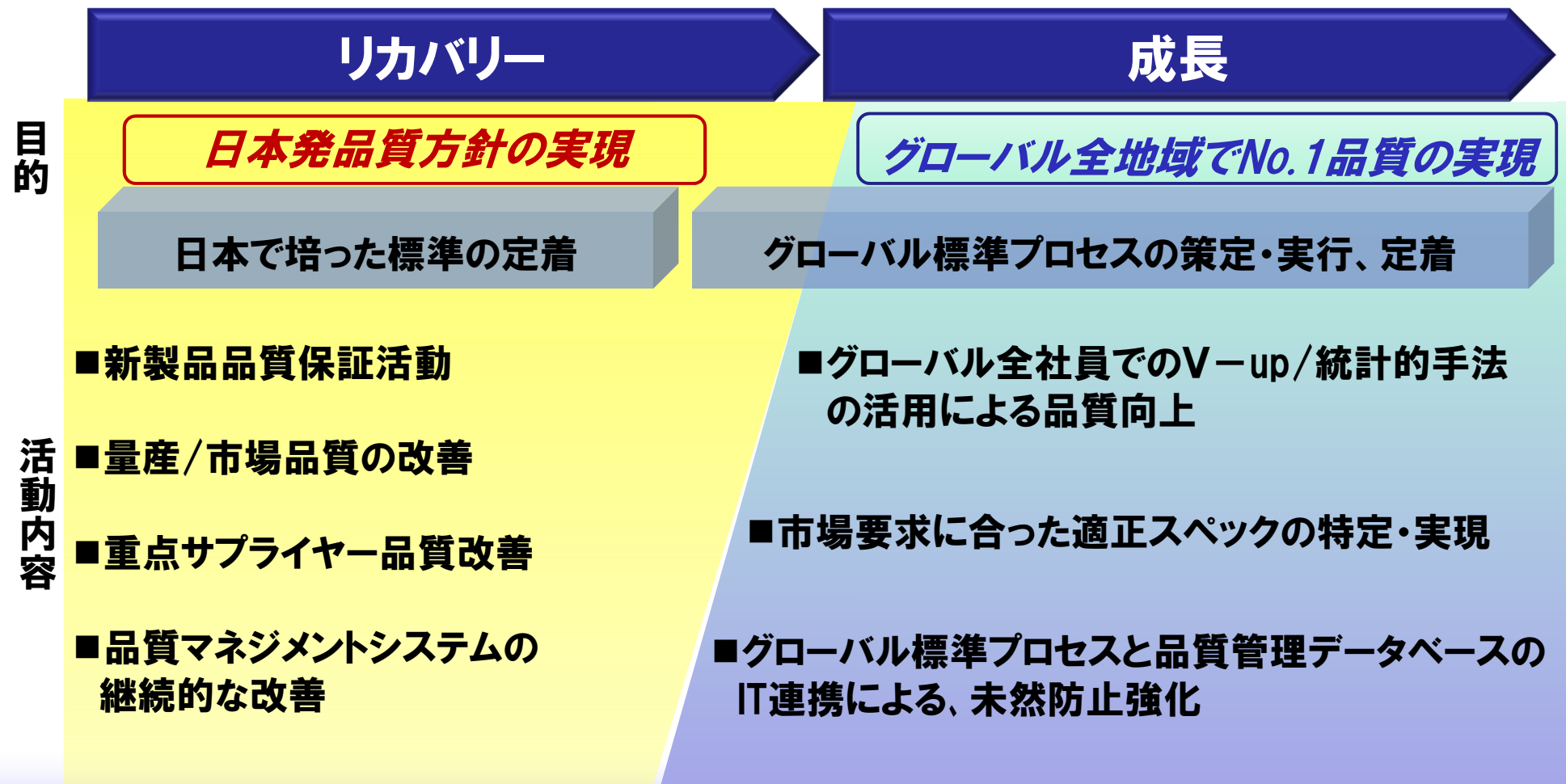
➤ MTCR(Cost Reduction) ⇒ MTCR(Challenge Runner)





ものづくり力の強化（品質No. 1）

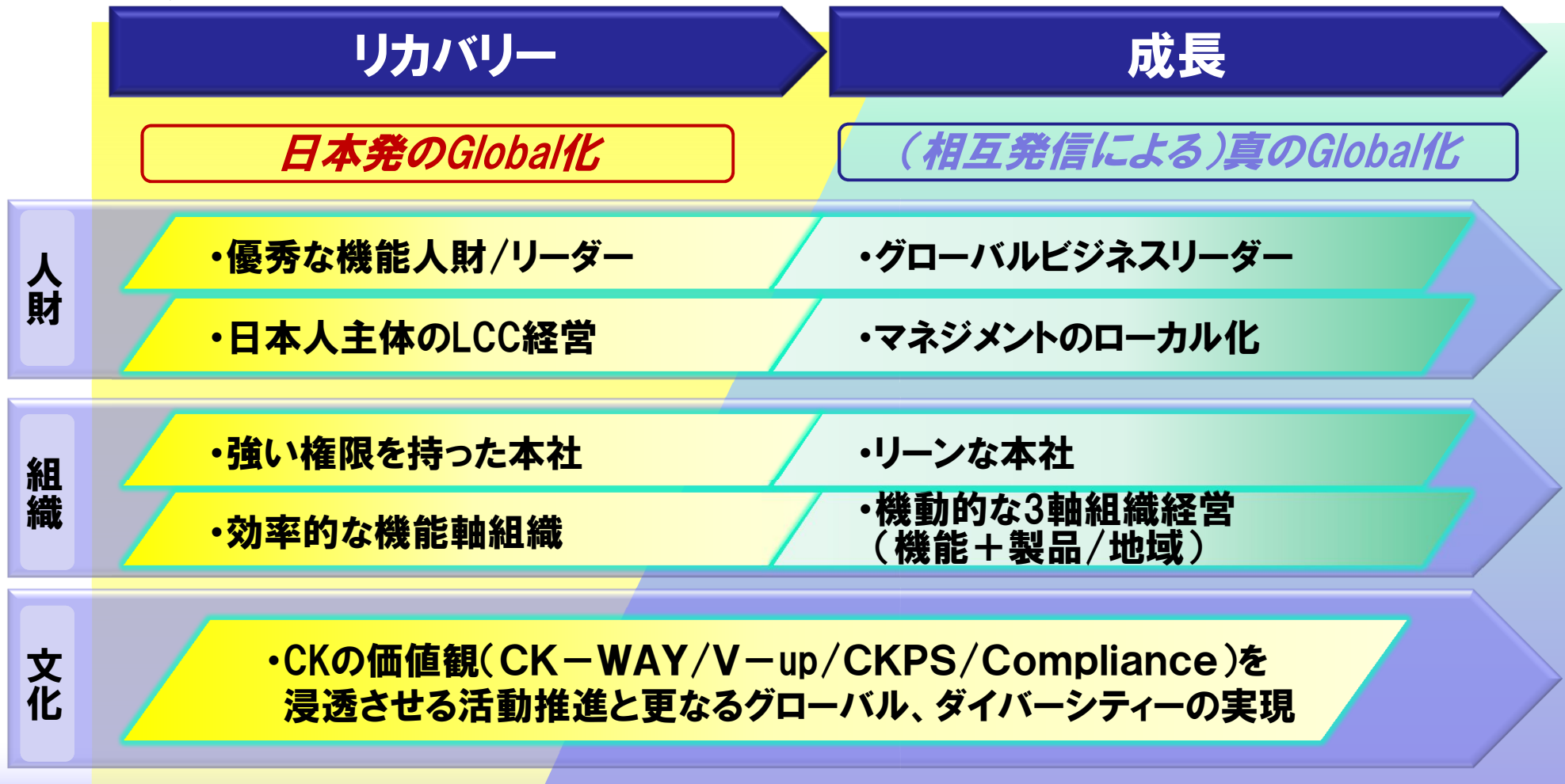
- グローバル標準の実行、PDCAを徹底して行い、世界中のお客様に満足いただけるNo.1品質を達成





経営基盤の強化（真のGlobal化）

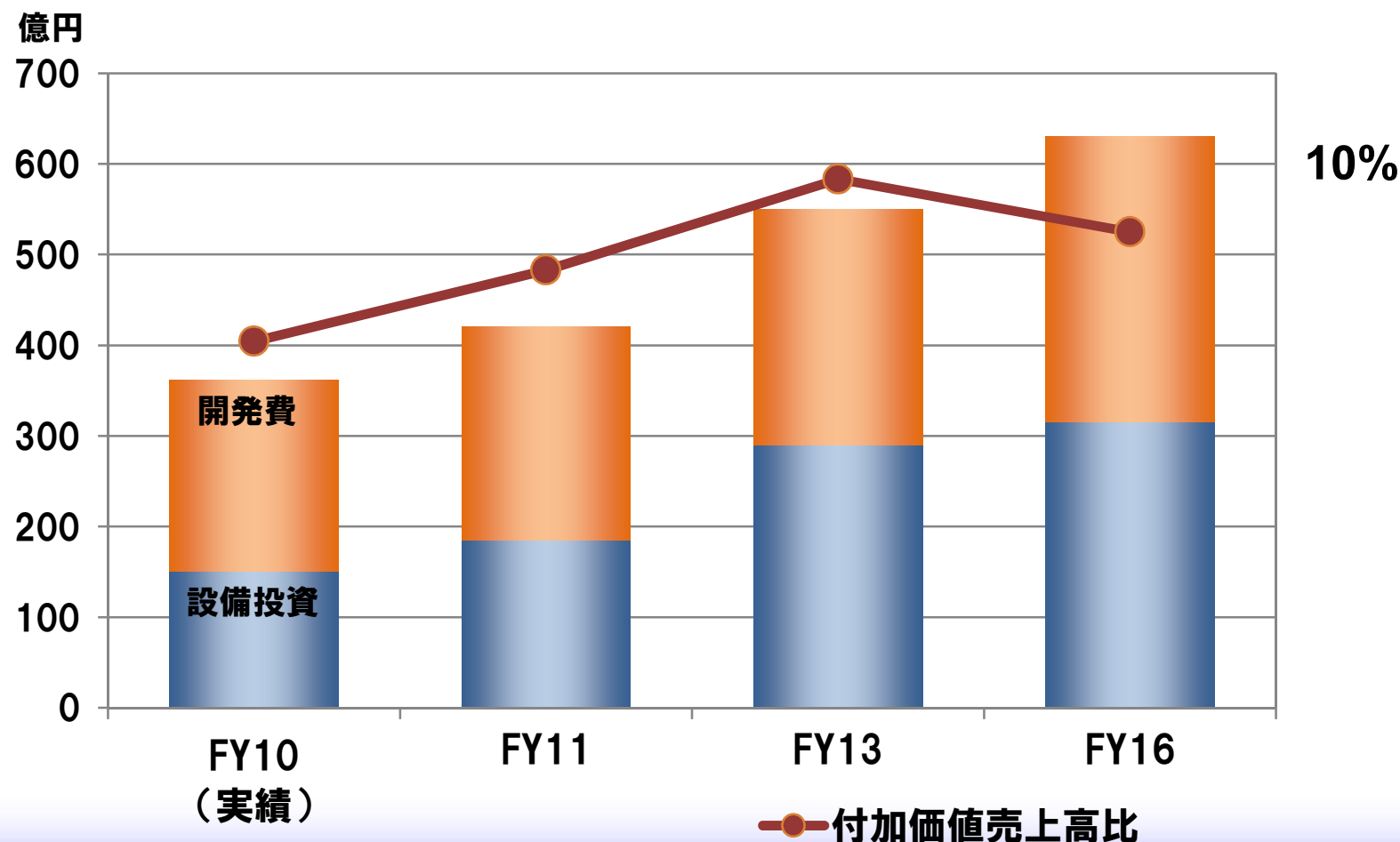
- グローバルビジネスリーダーとなる人財の育成、ダイバーシティーに富む組織/文化の醸成



リソース計画 ～設備投資と開発費～



- 設備投資と開発費の付加価値売上高比は、FY13年度にピークに達するものの、その後は安定的に推移





CK GX4 T10



Great Companyとしての企業基盤確立



Calsonic Kansei

- ・本資料に記載されているカルソニックカンセイ(株)の計画、戦略、意見等のうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、経済情勢、市場の動向、為替の動向等重要な要素の変動により、見通しとは異なる結果もあり得ることもご承知おき下さい。
- ・本資料に掲載されている事項は情報提供を目的とするものであり、投資勧誘を目的としているものではありません。
- ・この資料の著作権はカルソニックカンセイ(株)に帰属しております。
無断転載・複製することを禁じます。